

だんだん

すごいね

国宝火焰型土器(笹山遺跡出土/十日町市博物館蔵)。日本の古代文化を代表する遺物であり、みなぎる迫力と気品・すぐれた芸術性から故岡本太郎氏などが絶賛する世界に名をなすアートです。焼き物作りを始めた水落あずささん(右)と水落龍馬さんは、土器からずっと目を離しませんでした。(背景は登窯の炎)



主な内容

- [特集] 炎再び
火焰型土器から妻有焼へ 2-17
- 地域協議会紹介⑤/環境にやさしいまちづくり③ 18-19
- 地域の風～支所からのたより～ 20-21
- ときめきネットワーク/越後妻有2008冬① ほか 22-23
- まちの話題 TOPIC/十日町市核兵器廃絶平和都市宣言 ほか 24-25
- 雪処理に注意/後期高齢者医療制度⑤ 26-27
- 第59回十日町雪まつり 28-29
- お知らせ・ガイド 30-31
- ジュニア芸術祭—八箇小学校— 32

新潟県で唯一の国宝。平成11年に縄文土器として初めて国宝に指定された笹山遺跡出土品、なかでも“縄文雪炎”と呼ばれる火焰型土器No.1が出土して今年で25年になります。4,500年の眠りから覚めたこの土器は、確かな造形と美しいプロポーション、気品あふれる姿から見るものを魅了してやみません。土器だけでなく、高い精神世界と循環社会を築いていたといわれる遠いわれわれの祖先は、古代ロマンの枠を越えてさまざまなメッセージを発信し続けています。



火焰型土器 国宝への道

- 1980年（昭和55） 市道造成に伴い、笹山遺跡の第1次発掘調査が行われる。
- 1981年（昭和56） 市営野球場の建設に伴い、第2次調査が行われる。
- 1982年（昭和57） 第3～5次調査が行われる。7月8日(木)、火焰型土器（指定品No.1）が出土する。
- 1984年（昭和59） 市民スポーツハウスの建設に伴い、第6次調査が行われる。
- 1985年（昭和60） 市営陸上競技場の建設に伴い、第7次調査が行われる。
- 1990年（平成2） 1月、哲学者の梅原猛氏が『芸術新潮』誌上で笹山遺跡の火焰型土器を新国宝に推す。
- 1991年（平成3） 4月19日、「笹山遺跡出土品918点」が県指定文化財に指定される。
- 1992年（平成4） 6月22日、「笹山遺跡出土品928点」が国重要文化財に指定される。
8月～11月、火焰型土器が「古代の日本展」（ワシントンD.C）に出展される。
- 1997年（平成9） 笹山遺跡の火焰型土器が小学校6年生の歴史教科書に掲載される。
- 1998年（平成10） 『笹山遺跡発掘調査報告書』が刊行される。
9月～11月、火焰型土器が「縄文展」（パリ）に出展される。
- 1999年（平成11） 6月7日、「笹山遺跡出土深鉢型土器57点」（附を含めて928点）が国宝に指定される。
梅原猛氏が十日町市博物館の名誉館長に就任する。
- 2001年（平成13） 9月～12月、火焰型土器2点が「古代日本の聖なる美術」（ロンドン）に出展される。

第1部 火焰型土器は 生きている

縄文土器を焼く炎が途絶えてから数千年。再びここに焼き物の炎を上げようという動きが始まっています。窯業地「妻有焼」を興そうという活動で、その原点は国宝火焰型土器。この土器を生んだ地で、この土を使って、この人たちが焼き物を作り、使い、なりわいにする。陶芸家、地域、子どもたちが一つの夢に向かって歩み始めました。

特集 炎再び 火焰型土器から 妻有焼へ

4、500年のときを越えて――



ろくろを使って器作りにはげむ水落あずささん（東下組小3年/左）と水落龍馬さん（同4年）。表紙の写真で火焰型土器に見入っていた2人です。



第1章

すずいり土器が出た！

よみがえる25年前のあの日、昭和57年7月8日(木)。そのとき私は…。

火焰型土器No.1出土の瞬間に立ち会った3人にうかがいました。

最高のものが 最高の状態で出た

阿部恭平さん

梅雨のさなかだったんですが、夏の暑い日でした。その日が調査の最終日で、次の日から別な現場に移る予定でしたから、かなり気がせいっていました。



【あべ きょうへい】(十日町栄町・60歳)
市の学芸員として、笹山遺跡をはじめ多くの発掘調査や文化財保護・活用事業に携わる。当時発掘主任調査員

午後の作業が始まって間もなくして、あの土器が出たのは、第6層という120cm以上も掘り下げたところでしたから、まさかこれほどのものが出て来るとは思っていませんでした。

大きな、文様の掘り込みのすばらしさ、プロポーションの良さにその場でほれ込みました。鳥肌が立ちましたよ、夏なのに(笑)。それまでの県内出土のほとんどの火焰型土器を見ていましたから、「これが横綱だ！」と直感しました。何よりも、ほとんど無傷の状態で見つかったのがすごいと思いました。「最高のものが最高の状態で出た」という感じでした。

上げた土器片の中から探したわけですが、最下部を確定するのに4年かかりました。だから、底の1片が見つかったときはうれしかったですね。何としてでも本物の姿を見たい、見せたいの一心でした。

今は力をためるとき

県文化財、国重文と、とんとん拍子で指定されましたが、正直言って、国宝にまでなるとは思っていませんでした。哲学者の梅原猛さんが一所懸命推してくれたことや、市文化協会連合会をはじめ関係者の真剣な活動が実を結んだんだと思います。

国宝館などの整備を望んでいます。大きなハード事業はたやすくできないでしょう。アンギンなど、ほかの文化遺産や食文化などと結び付けて人が集まる仕掛けを作っていくことが大事。物産市やそば、焼き物体験などで交流を図るとともに、新しい視点での研究を進めるなど、基本的な力をためる時期でしょう。

出た出た！一生の宝

和田アサさん

「和田さん、ここをきれいにしてくんねか」と阿部さんに言われて、カキという道具で土の表面を切り取っていました。そうしたら、くるつとまわる土器の縁が出てきました。渡辺さんに「少し下げてみて」と言われて2cmくらいまわりを下げたらさあ大変、今まで見たこともないような火焰型土器がのぞいていました。思わず「わー出た出た」と大きな声を出しました。それくらいすごい宝物が出たんです(笑)。

発掘調査には、その2年前から出ていました。けっこう重労働なのでなかなか女しよにはきつかったようです。私は、宝物が見つかるし、楽しみながら作業に出ています。だから、掘る道具は、竹べらでも竹串でも自分で使いやすいように形を整えていました。そのおかげなのか、なぜかこの遺跡でも、私がそこで一番の宝物に当たるんです(笑)。



「わたなべ まさのり」(上野・49歳)
笹山遺跡ほかの発掘調査に従事。当時調査補助員。写真は石組炉を実測する本人(当時)

国宝出土秘話

運命を分けた決断の一言

渡辺正範さん

「渡辺さん、まわったよ。和田さんのいつもの朗らかな声に振り返ると、地面にピンクがかかった円い土器の輪切り断面が。一瞬、「まずい、現代ものか」と思いました。そんなことはありえない古い地層ですが、それほど、その土器は真円を描き厚さが均等でしかも極めて薄いのです。この時代の土器の断面は、いびつで厚ぼったく焼きもまばらなものが多いのに、まったく異質と思えるくらいに上品だったのです。

まわりを少し下げたら、火焰型土器特有の隆起線文が出てきました。くつきりと。これまでに見たことのないものが眠っているという期待感に胸が高鳴ります。阿部さんの指示で土器の半分だけ掘り下げました。「すごい火焰だ」「どうして、よりによつてこんな(最終)日に」。みんなが興奮して集まってきました。阿部さんだけが冷静(実は相当興奮していたようですが)に、「掃除して。写真を撮るから」と言います。和田さんとともに、竹べら、竹串、手ほうきを使って表面の土を取り除くと、波打ちうず巻く文様が生ききているかのように見えます。迷いのない形・線。すべての文様の意味が分かっている人だ



火焰型土器の出土状況。逆さまで保存状態も極めて良かった



当時の発掘作業風景。この下層に国宝になる土器が眠っていました



【わたなべ あさ】(中町・76歳)
昭和55年に始まった笹山遺跡の発掘調査など約20年間発掘作業に従事。当時発掘作業員

土器から見える地域の文化

土器だけでなく、生活文化のすべてが高かったという縄文時代のこの地域。どんなことがわかり、何が謎になっているのでしょうか。専門家に聞きました。

「縄文時代中期は全国的に土器の文様が華やか。その代表である火焰型土器は豪雪地にしか出ません」と言う菅沼さん



人の営みを 焼き物から見る

現在、十日町市の登録遺跡数は547。その7割以上が縄文時代の遺跡です。考古学史上で全国的にも有名な壬遺跡など約1万2、000年前の縄文章創期から前期（6、000～5、000年前）、国宝火焰型土器が出土した笹山遺跡などの中（5、000～4、000年前）、そして後期（4、000～3、000年前）の遺跡・遺物が市内全域に広がっています。つまり、約9、000年間にわたる縄文人の生活がこの地にあつたのです。現在は西暦で2007年。実にその4・5倍もの時間、われわれの遠い祖先はここに生まれ、食べ物を採り、家を建て、子どもを育て、そして死んでいきました。そうした人の営みを、残された土器から見ようという試みが、8月から9月にかけて市博物館で開催された「十日町市のやきもの展」でした。「土器展」としないで、あえ

て「やきもの展」としたところにミソがありそうです。

そのあたりを、企画した菅沼亘学芸員（40歳）に聞くと、「土器も焼き物。遺物としてではなく、生活の中にあつたものとして感じてもらいたいから」とのこと。なるほど、この方が古臭くないし、生活感があつて身近な感じがします。

「ほんとは、現代の妻有焼も企画展に含めているからなんです」。なーんだ、そうだったんだ。でも、縄文土器と現代の焼き物と同じ目線ですらえてるのはサスガ。ともにこの土から生まれたものです。



「尖底土器そのものがろくろ」と言う吉田明さん

実際、会期中には、陶芸家の吉田

大集落にしか出ない土器

11月23日（勤労感謝の日）、情報館と博物館を会場に平成19年度「出土品が語る新潟の歴史」発掘調査報告が行われました。この中で講演した石原正敏学芸員（45歳）は、「十日町市内には、112の住居跡が確認された笹山遺跡のほかにも、多くの縄文時代の大集落跡があります。火焰型土器や王冠型土器などは、こうした大きなムラからしか出てきません。ナゾであり一つのヒントになると思います」と、何のためにあんなすごい土器が作られたのかについて、研究課題を提起しました。



「国宝を生かしたまちづくり」を提唱する石原さん

縄文土器のヒミツ

縄文土器にはなぜあんなにたくさんの文様が付いているのでしょうか。

縄文文化研究の権威 小林達雄さんにうかがいました。



下条小学校6年生による土器作り。「火焰型土器を作りたかった」「苦勞して作ったけど焼いたら吹っ飛んだ」「バラバラ事件」「でも、ここまで復元したよ」「縄文人の技はすごい」「またチャレンジしよう」（縄文子どもフォーラムで）

縄文文化は約1万年続きました。弥生文化は現代も含めてせいぜい2千数百年です。自然を人間が支配しようという姿勢が、もはや地球をダメにしようとしています。

縄文姿勢方針は世界一

縄文時代は多種多様な食文化を持つていました。動物や魚などのほか木の実や山菜、きのこなど数百から千種類を季節ごとに上手に利用していました。自然の恵みを精一杯利用し、自分たちもその一部だということとを自覚していました。これを私は縄文姿勢方針と呼んでいます。

これに対して外来文化である弥生姿勢方針は、米や野菜、家畜を品種改良し、少品目を大量に作るやり方。自然を自分たちの都合のいいように作り変えてもいいという思想です。一見安定しているように見えますが、少品目の危うさは、一つがダメになると全部がダメになるところ。たびたび飢饉が訪れることや、最近の穀物騒動からも明らかです。世界史上、本格的農耕を持たずに文化を継続できた事例で、縄文文化の右に出るものはありません。

豪雪が 火焰型土器を生んだ

縄文文化の評価を高めている一番

の要素は、土器を持つているということ。石器や木の道具はほかの古代文化も持つています。しかし、自由自在に造形できる器、土器の発明は画期的でした。しかも、縄文の土器は器にとどまらない。私たちの使っている器は弥生時代と同じ。表面がつるつるの機能一辺倒のもので、これは世界共通の文化です。口（縁）は平ら。その方が使いやすいからです。しかし、世界の土器の中で縄文土器だけが口に突起が付いています。それだけでなく、全面に模様が付けれ、とても使いやすいものはありません。なんでわざわざこんな不便な形にしたのか。それは、土器を単なる入れ物として見ているのではなく、世界観を表現する対象と考えていたからです。詩や音楽と同じなんです。だからあきない。故岡本太郎氏が、「ここに日本がある」と言ったゆえんです。

その代表が火焰型土器。東北や北陸、関東などとの交流から生まれた信濃川流域独自の文化です。笹山の火焰型土器は、すべての火焰の要素を持ち合わせている貴重なもの。雪に閉ざされる長い冬がこの土器を生みました。雪の中の深い思索と一心の取り組みの結晶です。今、火焰型土器を持つ地域が連携してまちづくりをしよう、という信濃川火焰街道事業を進めています。

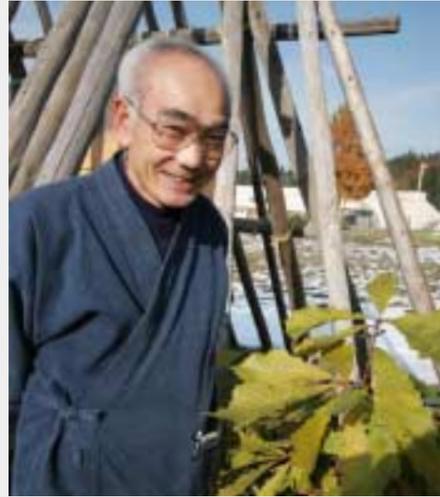


【こばやし たつお】（長岡市出身・70歳）
國學院大学大学院博士課程修了。文化庁文化財調査官などを経て國學院大学教授
縄文文化研究の第一人者として知られる『縄文文化の研究』（全10巻）『縄文土器大観』（全4巻）など著書多数

地域の知恵と力が結集

笹山じょうもん市・国宝出土記念の集い

笹山遺跡のある中条地区では、地区を挙げてのイベント「笹山じょうもん市」（約7,000人参加）を毎年開催しています。事業を縁の下で支える一人、笹山縄文倶楽部代表の岡田稔さん（上原・73歳）にうかがいました。



「山で拾ったドングリがここまでになりました。子どもたちといっしょに縄文の森を作るのが夢」と目を細める岡田さん

笹山の火焔型土器が国宝になった平成11年の7月、笹山遺跡保存活用委員会という組織が立ち上がり、その広報担当としてお手伝いさせていただきました。それから、地区振興会や笹山縄文探検団、笹山縄文どんぐりクラブの皆さんなどとともに関わり合っています。笹山縄文倶楽部（18人）は平成15年に発足し、遺跡の標識周辺の草刈りや植林、花畑の整備などを行っています。

一番力を入れているのが、国宝が出土した7月8日に実施している「国宝出土記念の集い」です。今年は出土25周年ということで、大勢の人たちから参加してもらえてうれしかったですね。これからも、今年発足したNPO笹山縄文の里と連動して、息の長い活動をしていきたいと思います。



国宝出土25周年記念の集いで行われたオカリナコンサート



「食」をテーマに研究した中条小学校の皆さん。苦労して作ったドングリクッキーの味は…。衣装にもこだわりました



とても手間と根気が必要な、アンギン作りにチャレンジした下条小学校の皆さん。ここまで作るのは大変なんです



連携推進が確認された縄文サミット

をキーワードに連携して地域振興に取り組むことを目的に平成14年に発足した「信濃川火焔街道連絡協議会」（長岡市・十日町市・津南町で構成／会長・小林三喜男津南町長の助成を受けて実施されているもので、今

年で5年目になります。同協議会では、助成事業のほか、各市町の遺跡や展示施設を拠点に見学ツアーやシンポジウム・講演会の開催、火焔街道パンフレットの作成、ホームページの運営などを行っています。

10月21日（金）、ながおか市民センターで開催された第6回協議会（縄文サミット）には、小林会長のほか森民夫長岡市長、村山潤十日町市教育長、小林達雄顧問ほかが出席。今後地域結びつきを深める活動を進めていくことを確認するとともに、「われわれの活動が実り、小学校の教科書に縄文が復活することになりそううれしい」（小林会長）などの話題で盛り上がりました。



1か月以上かけて作った野首遺跡（下条・上新田第1）のジオラマを前に発表する下条小学校の皆さん。聞き入るほかの小学校の児童のまなざしも真剣そのもの

「では、私たちの発表を始めます」「どうしてそのテーマを選んだのですか」「何回も失敗しました」…。長岡市にある県立歴史博物館の展示ホールは、子どもたちであふれています。発表する児童は4〜5人単位。聞き入る子どもたちも同じくらいです。その数およそ20。普段静かな博物館に、約200人の子どもの声が響きわたります。

11月28日（水）に行われた火焔街道博學連携プロジェクト「縄文子どもフォーラム」ポスターセッションの様子です。参加したのは、この事業に参画している長岡市立関原小学校・十日町市立下条小学校・同中条小学校・津南町立津南小学校の6年生。春から週3回の総合学習で取り組んだテーマごとの研究成果を持ち寄って、相互に発表・意見交換して交流を深めました。

テーマ設定はもちろん、グループ分けや調査、土器やアンギン（古代

このプロジェクトは、小林達雄國學院大学教授の呼び掛けで、「縄文

教科書に縄文が復活

の編み布）、狩猟採集道具などのモノ作りも自分たちの手で行ったことから、発表には自然と熱が入ります。とりわけ、発表用に作ったポスター（成果を模造紙などに表現したもの）は、各グループとも分かりやすくまとめるよう工夫がされており、それ自体が作品のようでした。

遺跡のジオラマ作りの発表をした下条小学校の田村友基さんは、「ほかの地区にも、笹山遺跡よりたくさん火焔型土器が出た遺跡があると聞いて、それを縄文時代の姿で多くの人に見てもらいたいと思い取り組みました。発表も含めて、みんなで協力したのでうまくいったと思います」と満足そうでした。

中条小学校6年生39人とともに取り組んだ担任の金子幸子先生（50歳）は、「4月から、地域の人たちに協力してもらいながらやってきたことが、こういう形で成果になってうれしいです。普段、学校の中だけで終わっていることを、地域外の大勢の人たちに伝えることで、表現能力を養ったり追求する姿勢を深めたりすることにつながると思います」と、手応えを感じているようでした。

博物館は大にぎわい

「では、私たちの発表を始めます」「どうしてそのテーマを選んだのですか」「何回も失敗しました」…。

長岡市にある県立歴史博物館の展示ホールは、子どもたちであふれています。発表する児童は4〜5人単位。聞き入る子どもたちも同じくらいです。その数およそ20。普段静かな博物館に、約200人の子どもの声が響きわたります。

第3章

縄文でつながる

小林教授の提言に基づいて生まれた信濃川火焔街道の流れは、自治体間の連携を越えて博物館と学校の連携、子どもたち同士をつながりへと花開いています。

炎再び 妻有焼の誕生

第2部

国宝となった火焰型土器は、
実は私たちの遠い祖先が
日常生活の中で生み出したものです。
だれもが妻有の土で器を作り、
焼いて使っていました。

その記憶を再び現代に呼び覚ます。
それが妻有焼です。



今年春からろくろを始めた水落修平さん（東下組小4年）。作るのは「じいちゃんのぐいのみと、これは自分の茶わん」。1時間で6個を仕上げました。



ときを越えて 妻有焼への道

2005年（平成17） 11月〜翌年3月、十日町市で日本のやきもの8人展が開催され、「妻有焼」が提唱される。
2006年（平成18） 7月〜9月、「第3回大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2006」で「妻有焼」が提起され、その展開が大きな話題を呼ぶ。
2007年（平成19） 市内で焼き物に有望な土と釉石が発見される。陶芸家の吉田明氏が十日町市に居を移し、本格的に窯業地「妻有焼」への取り組みが始まる。
地域で焼き物への関心が高まるとともに、「妻有焼の里づくり」構想がまとまる。

広がる 妻有焼の輪

多彩な展開 8人の妻有焼展
作家はどう見る 越後妻有の土

第1章



1



2

1 多くの市民や愛好家が訪れる「8人の妻有焼展」
2 作家の本音の語りに、会場もわきました



3

3 「作家の個性が作品に現れます。だから、多様な作家が参加することが大事」と話す入澤美時さん



4

4 瀬戸で修行中の富谷路子さん（36歳）は、「できればここで妻有焼にかかわりたいですね」

日本を代表する 8人が制作

現在、農舞台（松代）で「8人の妻有焼展」が開催されています（平成20年3月9日（日）まで）。全国の産地で活躍する8人の著名作家が十日町市内（滝沢・松代東山・瀧野）の土を使って焼き上げた作品展。個性あふれる名品をたん能できます。

11月23日（勤労感謝の日）には、このうち5人の作家（澤清嗣／信楽、寺田康雄／瀬戸、中村卓夫／金沢、原憲司／美濃、三好建太郎／越前）が会場を訪れ、制作の苦労話や市内の土の感想などを話し合うアーティストトークに参加しました。

コーディネーターは、当初から妻有焼の企画に携わっている入澤美時さん（東京都・60歳）で、「ここに焼き物の里を作りたいという思いで『妻有焼』を提唱しました。そのため、焼き物のプロからこの土を使って焼いてもらい、どういう可能性があるのかをさぐるとういうのが今回の主旨です」とあいさつ。続いて各作家が越後妻有の土に対する感想と制作の苦労話を披露しました。

土に難点…でも

「なんとかまとめましたがとても苦労しました」「3種類の土のうちよ

うやく1つを形にしました」最初送られてきた土を見たときはネギか何かを植えると言っているのかと思つた（笑）「とても単身（100%）では使えない」「普通の1、250度には耐えられない」など一様に土に辛口評価、難点続出。オヤオヤ、いきなり赤信号か…。

そんな中で原憲司さんは、「今回送られてきた土は、われわれの目で吟味したものではありません。それでも1、300度まで上げて焼きました。プロとして土の見方・扱い方のお手伝いはできます」と、また、澤清嗣さんは、「火焰型土器を見て『いいなあ』と思いました。地域の人たちと触れ合って、もっと『いいなあ』と思いました。好きだからかわつていきます」と述べて拍手を浴びました。

この催しには出席できませんでしたが、鈴木五郎さん（瀬戸）の作品は越後妻有の土だけで作られています。焼成温度を1、150度ほどに抑えて焼き上げた、黒みを帯びた楽茶わん。縄文をイメージして作られており、一つの方向性を示すものとして注目を集めました。

今回の試みに先がけて、プロとして越後妻有の土を何十か所も調査し、すでに多くの作品に仕上げている作家がいます。奥多摩出身の陶芸家吉田明さんです。

魚沼コシヒカリ。ここの土で育てた日本一うまい米を、
ここの土で焼いた茶わんで食う。
これが最高のぜいたくでしょ。

その意味で、ここは農業という基盤を持つているのが強い。農繁期は農業に専念して、農閑期に土を作ったり焼いたりする。家も食うものもあつたうえで焼き物をする。それが「半農半陶」。冬はお茶飲みばつかしでないで、こもって茶わん焼こうよ(笑)。火焰型土器だって、雪の中に閉じこもっていたからできたんだと思うよ。豪雪が国宝を生むんだよ。

土のいいのがあつて？

冗談言っちゃいけない。おれがここに骨を埋める気になったのはそれがあつたからだ。海老、中子、岩瀬、菅沼、願入…もう何十か所も土を焼いて試した、いい土がいくつかある。確かにねばりは少ないけど、組み合わせることで十分焼ける。第一、おれがいつばい焼いているがね(笑)。今、有田や信楽など全国の産地で土がなくなっている。みんなよそから買っているんだ。東京なんかなおさら。だいたい、掘るところがない。その点ここは無尽蔵、何万年分もある(笑)。それに何より、うわぐす

東京から2時間半

これが大事。いくら焼き物を作っても、日帰り範囲で大消費地がなければ産地にはなれない。益子が産地になれたのはそのため。だから今はここがちょうどいいんだ。立地にも恵まれているし材料はそろっている。あとはやる気だけだ(笑)。

焼き物はスポーツと同じ。早く始めなければ一流にはなれない。60歳から始めてもイナバウアーができないのと同じ(笑)。ただ、そういう人たちが始めないと次の世代は育たない。ひ孫の代に人間国宝を生むくらいの気持ちでやっつけていこうよ。やり方はいつでも教える。3か月あれば一通りのことはできるよ。実際、東下組の子どもたちは、もう、ろくろが引けるんだから。

まきの窯が10か所くらいできれば産地になれる。おれが生きているうちに、実現したいね。



【よしだ あきら】(朴木沢・59歳)

東京都青梅市生まれ
14歳のとき独学で窯を作り17歳から愛知県立陶磁器試験場、今治、有田、唐津、伊万里などで修行、古陶を学ぶ。26歳で第1回個展を開催。以後、国内外での個展多数
三嶋、粉引、刷毛目など朝鮮王朝(李朝)時代の古い技法を、朝鮮半島に残る陶片を手がかりに独学で復元
七輪陶芸、ミニ窯、紙窯など、陶芸界の常識をくつがえす手法を次々に開拓
縄文土器の製法を陶芸家の視点で長年研究。画期的な焼き方を実証
『七輪陶芸入門』『縄文-室内陶芸』など著書多数
大地の芸術祭で作品を展開。「妻有焼」の産地化を目指し十日町市に移住する

第2章

妻有焼にかける

退路を断つてこの地に生きる。
生まれ育った奥多摩の地から十日町へ。
陶芸家吉田明さんの思い。

日本に国宝は千何百件もある。

けど、焼き物はとても少ない。日本のものになると5、6件しかない。ここにもあるでしょ、すごいのが。それも57点、附属を入れて928点だけ？つまり、日本の国宝の焼き物の99%が、十日町市にあるってことだよ。しかも最古の国宝、掘ればゴロゴロ出てくる。分かってんのかな、みんながそれを(笑)。

要するに、日本どころか世界の宝、火焰型土器を生んだ地域だつてことを再認識してほしいんだよね。

芸術家でも作家でもない、そこらのかあちゃん、ばあちゃんが作ったものが国宝になっちゃった(笑)。そういう血を受け継いでいるんだから、ここで焼き物をやるってことは特別でも何でもなし。自転車に乗るように、コツを覚えてしまえばだれでもできる。まずは粘土に触れてみ

人間力のすごさを感じたよ。

七輪陶芸を市内のいろんなところでやっけるけど、1回やるともう自分たちで勝手にほいほいやる。実は、すごく難しいことなんだけど簡単にできちゃう。東京の人だったら何回やってもできない。この人たちはみんな上手なんだよね、土や水や火を扱うのが。

だからって、大作家を目指そうなんて思わないこと。焼き物だけで食っていけるのは、星の数ほどいる焼き物焼きのほんのひとにぎり。おれも一人立ちできるまで10年かかった。それまではミルク代も出ない。



1



3



4



2



5

1 機会あるごとに、子どもたちに焼き物の楽しさを伝えます
2 縄文土器は、吉田さんにとって永遠のテーマ

3 4 吉田さんの作品。もちろん妻有焼
5 吉田さん考案のミニ窯。これで十分焼けます

妻有焼の可能性

見えてきた課題と展望。
妻有焼シンポジウムから。



12月1日(土)、情報館で妻有焼の里づくり実行委員会(佐藤三代治実行委員長)主催による「妻有焼でまちおこし 妻有焼シンポジウム」が開催され、約100人が参加しました。旧野中小学校を陶芸センターとして整備する事業が進められていることから、これを広く知ってもらおうと開かれたもの。陶芸家吉田明さんによる基調講演を受けて、いけばなジャーナリストの関葉子さん(千葉県)、(社)十日町青年会議所理事長の児玉義昭さん(稲葉)、妻有焼実践者の鈴木隆夫さん(重地)、妻有焼支援者の水落静子さん(願入)の4人が妻有焼との出会いや今後の課題、発展の可能性などについて意見交換しました。コーディネーターは中小企業診断士の小松俊樹さん(小千谷市)。

唐津に似て楽しい土

冒頭あいさつした佐藤実行委員長は、「今年野中小学校が閉校になり、さみしさをかみしめていましたが、陶芸センターとしての活用の方角が出てきてありがたい。地区としても、農産物の直売所や花の植栽などをしながら、妻有焼の成功を後押ししたい」と、妻有焼への期待感を込めました。

丸山俊久副市長は、「妻有焼は国・県の後押しを受けて市が取り組むチャレンジ精神旺盛な事業。成功の关键是皆さんの参加、幅広い地域の底上げにかかっています」と、多くの参加を呼びかけました。

「妻有の土に魅せられて」と題して講演した吉田さんは、14歳で陶芸に目覚め17歳から常滑、今治、有田など全国各地で修行して土や鉱物の見分け方・扱い方、窯の作り方・焼き方など焼き物に関するあらゆる技術を修得してきた過程を披露。

そのうえで、「妻有の土は、高台がちりめん状にめくれる感じが唐津に似ている。味があっていい。土は、2年や3年焼き物をやったくらいでは分からない。40年間やってきたからこそ、そう言い切れる。楽しい土です。あと20年は生きて、皆さんとともに楽しみたい」と結びました。

パネルディスカッションの主な内容を紹介します。

感性と販売戦略が重要

関 10年ほど前から吉田さん夫妻と毎年韓国を訪れています。吉田



吉田さんが、この土に魅せられたのも分かる気がします。吉田さんの妻有焼の大皿と片口を東京で買いました。味わい深く、持つ喜びと使う楽しさを感じます。焼き物には、作り手と使い手の感性が現れます。選ぶ側から言えば、たくさんの方がかわってたくさんの方の感性で表現してほしい。モノを作ることはできて消費してもらわなければ産業としては成り立ちません。古い窯業地でも生き残りに必死です。どんなに良いものを作っても、買ってもらうには相当の努力が必要。販売促進の戦略をどう立てるかが、かぎでしょう。

底辺を広げることから

児玉 青年会議所設立50周年式典の乾杯用に



ぐいのみ4百数十個を焼いてもらいました。私も娘と器作りに参加しましたが、土に触るといやされる感じがしました。

孫が作ったぐいのみで、おやじは毎日晩酌しています。建設業の立場で言うと、粘土はどちらかといえばじやまもの。でも、あれ以来見る目が変わりました、これも資源なんだと(笑)。焼き物は観光のおみやげに最適だと思います。期待していますが、底辺を広げることが大事。学校給食の食器を自分で作って食べて洗う。そんなことができたら子どもたちの食育にもなるでしょう。居酒屋などで積極的に使ってもらおうよう、働きかけることも重要だと思います。

半農半陶を楽しむ

鈴木 吉田さんの人柄に魅せられて工房へ通うようになりました(笑)。焼けるようになったら、吉田

さんから「地元の人にはタダで配れ」



と言われ、ぐいのみ150個を祭り配りしました。酔っぱらって置いていく人もいました。喜ばれました。ま

ず知ってもらうことが大事だと実感。物産展などで吉田さんの作品の隣に10分の1くらいの値段で置いてもらったら、けっこう売れました(笑)。今はこの生活に満足しています。豊かな自然とそこそこの利便、温泉も食も仲間も豊富。これに、自分で作ったぐいのみや皿で、どぶろく飲んでごっつお食ったら言うことない

窯を作ると宣言

水落 七輪陶芸をやったらみんな喜びました。炎を見て興奮するのは私だけじゃないんだと安心しました(笑)。



地元の仲間(東下組女)の会の話で話し合っている。この土でこのものを食べられたらいいね」と

すぐにまとまり、吉田さんの工房に押しかけて習い始めました。イベントで、「この土で焼いたんですよ」と勧める、けっこう売れるんですよ、私たちの(笑)。東下組小学校が来年度で閉校します。せつなくて、それに代わるものって何だろうと考えてきました。きものやコシヒカリとともに、うぶすなの家(古民家を利用した陶芸美術館兼農家レストラン)と妻有焼がこの地域の名物になってほしいと思っています。それで、「下条高原窯を作ろう」と宣言しました。だから、吉田さんが生きていううちに、技をいっぱい習いたいと思います(笑)。

では、水落さんたちの活動を見てください。

妻有焼の里づくりとは

内発的な新産業の振興と交流人口の増加、地域経済の活性化を目的に、焼き物をキーワードとしてまちづくりを進めようという事業。焼き物の体験や陶土作りができる工房や、登り窯・穴窯などを備えた陶芸センターを整備し、作家や愛好家の支援と育成、陶土や製品の販売も行う計画です。

拠点となる妻有焼陶芸センターは、今年閉校した旧野中小学校。今年度中に体育館内に登窯の構築・陶土製造機の導入を行い、来年度、校舎棟と校庭に体験工房・穴窯・駐車場などの整備を行います。平成20年秋のオープンを目指しています。

地元入間地区(野中・池沢・鍛柄沢・漆島・当間・大石集落)では、妻有焼陶芸センターを核とした地域活性化プランづくりに震災復興基金事業を活用して取り組んでいます。陶芸センターでは、「器食同源」をコンセプトに、地元の土で焼いた器と地域の食材を組み合わせた商品開発などを実施して、相乗効果を高めていく計画です。

お私たちの手で めざせ！下条高原窯

自分たちで陶土と窯を作り、
焼き物をしていこうという動きが始まっています。
東下組有志の活動に密着しました。



土の採取。さすがは力自慢？の「東下組の女しよ」です



右から静子さん、朝子さん、清一郎さん、之夫さん

農機・人間力が活躍

11月15日(木)朝、予報の雨とは裏腹に青空が広がっています。
「昨夜の天気祭りが効いたね。あ
いさつがわりの冗談を言いながら、
くわやスコップを動かす4人。之夫
さん所有の牧草地が土採り場です
(勝手に掘ってはいけませんよ)。15
分ほどで軽トラック1台分の土がま
とまり、これまた之夫さんの農作業
場へ。

ここで活躍するのが農業に使う機
械。土を細かく砕くのは育苗用のク
ラッシュャーで、粒子を分別するのは
選米用のライスグレーダー、土と水
を混ぜるのは床土作りに使うミキサ
ー、水抜きに使うのは牛の飼料が入
っていた袋…。ほかの機器もみんな
もともとあるものです。皆さんの動
きにも無駄がありません。黙々と、あ
つさりこなします。吉田明さんの言
う「人間力」(P13)の面目躍如です。
半日かけて、約150kgの陶土の
ものが出来ました。「思ったよりきつ
かったて」「これでいっぺ茶わんが作
らる(笑)」。いい仕事の後のお昼
は、之夫さん特製のそばです。

「次は、もつと若いしよにもかか
わってもらえるようにしねとの…や
っぱりまきの窯だよ(笑)」。静子さ
んはそう言いながら、汗をぬぐいま
した。

お私たちの手で焼き物を

「高台削り、どっけだっけ?」「あ
あ、うんまくいったぜ」「あとは焼か
んだの」「ちっと割れるかも」「砂の
具合だか粘土のせいだか」…。

晩秋の夜、4人が集会施設のちゃ
ぶ台を囲んで話し込んでいます。(写
真上左) 下条の東下組地区に焼き物
の火をともしようという活動に取り組
んでいる発起人の皆さんです。この
日集まったのは代表の水落静子さん
(願入・48歳/以下「静子さん」、水
落朝子さん(平・46歳/以下「朝子
さん」、小宮山清一郎さん(瀧野・
56歳/以下「清一郎さん」、水落之
夫さん(瀧野・72歳/以下「之夫さ
ん」の4人。発起人はこれに水落久
子さん(願入・60歳)を加えた5人
で、4月から定期的に陶芸家吉田明
さんの工房に通って手ほどきを受け
たり、吉田さんを招いて地区で講演
会を開催したりと、活発に活動を進
めています。

8月からは、地元の土で焼いたぐ
いのみや皿を祭りやイベントなどで
販売し、消費者情報を集めています。
この日の主題は、今年度を含めた
3年間の活動方針と事業内容を決め
ること。

昨年の大地の芸術祭の主要施設、
古民家を陶芸美術館と農家レストラ
ンに改修した「うぶすなの家」(願

めざすは下条高原窯

「之夫さん、ろくろは今年度だよ
ね」。静子さんが水を向けると、趣味
の延長で自宅牛舎に電動ろくろと灯
油窯を設置してある之夫さんは、「あ
あ、3台分見積もり取ってある」と
資料を出します。朝子さんが、「窯は
来年?」と言うと「そうそう、窯の
名前は どうする?」と静子さん。之
夫さんが「下条高原窯はどっけだべ」
と提案すると、全員が「そうだ、そ
れがいい!」と一決。

清一郎さんがぼつりと、「窯は灯油
かい。それとも、まきだかい」。

「ほんとはまきの窯がいいども」
「お金も維持も大変だ」「レンガは地
元の土でも焼けるって」「あんまり最
初から無理しねで」…。

結局この日は結論が出ず、地元の
土がどうい性質なのか見極めるた
めに、地道に土作りをすることに
なりました。実行日を数日後に設定。
さすが、行動が早い。

火焰型土器が焼かれてから4、500年。
ここ2年くらいで急に動きが始まった「妻有焼」。
新しい産業として定着するためには、行政の後押しと
ともに、「おもしろい。おれやろう」という人が一人
も多く出て、お互いにつながる事が大事。
ひとつ、腰をすえて、やってみますか。



- 1 採取した土をクラッシュャーで細かくします
- 2 選別した土と水をミキサーで練ります。みんな農作業で使う機械
- 3 それを金網でふるいにかけます。これも手作り
- 4 東下組小学校の児童も、地元の土を使い、作品としてだけでなく家で使う食器も作っています
- 5 「七輪陶芸で、おらほの土で作ったぐいのみ肌合いがよくての。これだっけばやってみてと思っ、また道楽を始めたんそ」と作品を手にする之夫さん



環境にやさしいまちづくり

◆問合せ◆ 市民生活課環境政策室 ☎757-3740

市内のガソリンスタンドで天ぷら油を回収します

●1月から回収する事業者

（株）山田屋商店十日町給油所 S.S.、（株）山田屋商店四日町給油所 S.S.

●12月から回収する事業者

（有）大瀨石油 S.S.、長谷川石油（株）S.S.、村山石油 S.S.、（株）村昭本町 S.S.、（株）村昭十日町西 S.S.、（株）倉澤石油 S.S.、（株）ケンベイミユキ美雪町給油所 S.S.、（株）山松商店伊達 S.S.、（株）前田商会 S.S.、（有）アドバンス S.S.、（有）ギガワ石油 S.S.、（有）イタバ中里給油所 S.S.、石光石油（株）中里給油所 S.S.

●4月から回収する事業者

セキヨシ十日町 S.S.、（株）ミナミ商会川治給油所 S.S.、十日町石油（株）本町 S.S.、十日町石油（株）高田町 S.S.、（株）山松商店川西給油所 S.S.、（株）山松商店十日町給油所、（株）山松商店十日町バイパス S.S.、（株）吉田商会 S.S.、（株）吉田商会西 S.S.、米岡石油（株）S.S.、（有）松之山温泉給油所 S.S.、（株）びつとランド十日町給油所、（株）びつとランド川西給油所、（株）びつとランド田沢給油所、（株）びつとランド中里給油所

市では、環境にやさしいまちづくりの一環として、9月から市内業者の協力のもとに家庭で不要となった天ぷら油（廃食用油）の回収を行っています。廃食用油は、業者でリサイクルされて、環境にやさしい燃料・BDF（軽油代替燃料）に生まれ変わります。

この取り組みを全市に広げるため、12月から市内のガソリンスタンドで廃食用油の回収を行います。自家用車などの給油の際に家庭の廃食用油も出せるので、手軽な環境への取り組みとして期待できます。

●公共施設での回収も引き続き行います

9月から毎週木曜日に市内11か所の公共施設で実施している廃食用油の回収は、冬期間も引き続き実施します。

▼回収場所：本庁、分庁舎、下条・中条・吉田・川治・水沢公民館、川西支所、中里支所、松代支所

▼回収時間：毎週木曜日 午前8時30分～午後5時30分

廃食用油の出し方

1. 回収対象の油

家庭から出る使用済みのサラダ油や、賞味・消費期限が切れた古い食用油

 - 油は、植物性のものに限りません。動物性の油は回収の対象となりません。
 - 油は液体状のものに限りません。薬品で固めたものは回収の対象となりません。
 - 灯油などの燃料、塗料、石油系のオイル類は出さなくてください。
2. 出し方
 - 使用済みの天ぷら油は、ペットボトルの空容器などに入れて持ち運び、設置してあるポリタンク（20ℓ）へ注いでください。
 - 天カスなどの異物は、紙でこすなどして取り除いてください。
 - 使用した容器は持ち帰り、再度利用してください。



廃食用油（左）が、精製工程を経てBDFにリサイクルされる

次号は、前号に続いて十日町市環境基本計画に定める5つの環境目標のうち、居住環境の整備や資源循環型社会づくり、そして環境にやさしいまちづくりに向けた市民意識や環境教育などの参加行動について、お知らせします。

自立と協働

～地域協議会から～

各地域協議会を紹介します

川西地域協議会

◆◆川西の資源を生かし、川西全体の力を結集して◆◆

《川西地域振興計画を策定しています》

川西地域協議会では、市総合計画前期基本計画の川西地域振興プロジェクトを実現するため、川西地域振興基金を活用した川西地域振興計画づくりに取り組んでいます。協議会では、各地区をはじめ各種団体から約20回にわたる聞き取り調査を行いました。そこで出された意見を基に、5つのグループに分かれてワークショップを開催し、川西地域の抱える課題や今後のまちづくりの方向などについて、議論を重ねてきました。



10月には市民ワークショップを開催し、川西の資源を生かし、川西全体の力を結集した「産業おこし」「人おこし」「地区おこし」の3つのまちづくりの目標を確認しました。さらに、まちづくりの目標を達成するための具体的な取り組みについて話し合いました。

「産業おこし」では、冬場でも取り組める農業のしくみを開発し、地産地消のために連携する。「人おこし」では、交流拠点から広がる支え合いを支援し、学校と地域がいっしょになって子どもの教育を行う。「地区おこし」では、地区の生活交通を確保し、地区のコミュニティ再生を図るなど、たくさんの具体的提案がありました。

今後、市民ワークショップで出された提案をまとめ、重点プロジェクトとして、具体的行動の方向や手順を明確に示した振興計画づくりを進めていきます。

■問合せ 総合政策課自治振興係（☎757-3193） 十日町地域の各公民館 各支所地域振興課自治振興係

下条地域協議会

◆◆振興会と一体になった組織◆◆

下条地域協議会は5月28日に設立しました。会長は下条地区振興会長の生越誠一氏、副会長は東下組地区振興会長の水落巻治氏、委員は23人です。協議会の設立目的が、これまで地域振興を担ってきた振興会といっしょであることから、屋上屋を重ねる組織や活動を避けるために、次のことを申し合わせました。

- ①下条地区振興のため互いに表裏一体の活動をする。
- ②振興会と協議会は、同日同時刻に開催する。
- ③委員は兼務し、兼務できないときはオブザーバー的な立場で出席し発言する。
- ④年報酬は同額を支給する。

◆◆型にはまらない「まち・むらトーク」◆◆

11月12日(月)、「まち・むらトーク」を開催しました。型にはまった会の内容から脱皮するため、14人の小委員会を設け内容の検討をしました。その結果、議会の一般質問のように市側の答弁を聞くだけでなく、会場の参加者も議論に加わり、この日が“地域づくりのスタートとなる日”と位置付けました。

具体的には、限界集落も発生している厳しい現実を認識しながら、東下組小学校の閉校に伴う対応と大地の芸術祭や妻有焼の里づくりと連携した活用方法、取り残された下条地区の高速通信の取り組みなどを熱心に議論しました。



◆◆地区内の公共事業要望か所を視察◆◆

11月18日(日)、地区内の公共事業要望か所を、市の担当課長と視察しました。下山集落の市道とJRの踏み



切りでは、冬期間の危険性をお互いに認識するなど、公共事業を公平にみる良い機会になりました。

湯ノ米マイ心ハート

まつのやま

松之山支所
☎596-3131

「健全な食生活を身につけよう」 松之山中で食育講座

11月13日(火)、松之山中中学校で3年生を対象に食育講座が開催されました。



「食育」は、さまざまな体験をとおして、生きるうえで基本となる「食」に関する知識と「食」を選ぶ力を学び、健全な食生活を身に付けようとするもので、松之山地域では毎年講座が開催されています。この日は、同校栄養士の星名優希さんを講師に、「自分にあつた食事の適量を考えよう」と題した講義とワークショップが行われました。講義では、成長期の食事が将来の身体の状態を決めることや安全で安心な食に大切さを勉強しました。また、ワークショップでは、食生活改善推進委員の指導を受けながら、クレープを何枚も重ねたフランスのお菓子「ミルクレープ」作りに挑戦。生徒たちは、料理を作る過程で考え、相談しながら、自分たちで作ることの楽しさや喜びを学びました。出来上がったお菓子を、互いに感想を話し合いながら、楽しくにぎやかに試食していました。

かわにし新聞

川西支所
☎768-3111

フォトで紹介 かわにし秋の周遊祭

10月28日(日)から11月25日(日)にかけて、川西地域の各地で収穫祭やそばまつりなどが開催されました。芋掘り体験・農産物の販売・手打ちそばの会・もちつき大会・屋台など多数のイベントが行われ、農産物を買いたい求めたり、新そばを味わったりする姿が見られました。



11月11日(日) 岩瀬そばまつり



10月28日(日) 第7回仙田の収穫祭



10月28日(日) 第21回なかまの家収穫文化祭



11月3日(文化の日) 白倉自慢会



11月4日(日) かわにし自慢祭



11月23日(勤労感謝の日) 千手温泉千年の湯 秋の感謝祭



11月18日(日) 木落そつきそばまつり

新たな名老に8人を認定 松之山名老百選の集い開催

11月21日(水)、松之山地域の名老が一堂に会する『名老百選・名老の集い』が植木屋旅館で開催されました。名老百選事業は、今後の活躍と良き指導者として後継者の育成にあたり、もろうことを目的に制定されたもので、各分野で活躍しているおおむね70歳以上の高齢者を表彰しています。



この日は、歴代の名老や新たに認定された名老35人が参加。小野塚良雄支所長が、「今後も地域活性化のため、長年培った皆さんの力を貸してほしい」とあいさつした後、新名老の一人ひとりに認定証が手渡されました。また、名老選考委員の村山那一さん(上川手・67歳)は、「高齢化が進んでいますが、元気いっぱいいる皆さんの職人芸をますます発揮し、地域の若い人たちに伝えていってほしい」とお祝いの言葉を贈りました。

現在、80人の名老が各分野で活躍

- ◆村山貞義(上川手・74歳)／文芸・演劇の部(俳句)
- ◆高橋 伸(大荒戸・71歳)／歴史・風土・文化の部(文化・風土)
- ◆高澤 静(大荒戸・81歳)／農業の部(園芸・花づくり)
- ◆石塚幸貞(湯之島・73歳)／身体・頭脳の運動の部(囲碁)
- ◆佐藤喜一(天水越・73歳)／歴史・風土・文化の部(文化財)
- ◆樋口栄八(中尾・71歳)／民芸品創作の部(野鳥こけし台木製作)

川西地区体育協会 体育功労者等表彰式

10月17日(土)、千手中央コミュニティセンターで第28回川西地区体育協会体育功労者等表彰式が行われました。保坂和則会長(千手栄町・51歳)が、「個人の納得、周囲の納得、世間の納得を得ることが体育振興の発展につながります」とあいさつした後、受章者に表彰状が手渡されました。受章者をお知らせします。※敬称略



- ◆体育功労者章 山田常夫(仁田)
- ◆優秀競技者章 山崎 徹(上越市)
- ◆奨励者章 奏野喜三彦(仁田) 柳 健太(下平新田) 樋口真央(中仙田) 田辺沙季(南台) 畑中沙桜里(山野田) 高橋寛行(中屋敷) 畑中紀章(山野田)

川西支所で サタデー市長室を 開催します

- 日時 12月22日(土)午前9時～正午(1組1時間以内)
- 会場 川西支所第1研修室
- 対象 原則として市内に住所または勤務地・所在地がある個人及び団体(10人以内)
- 申込み・問合せ 12月19日(水)までに川西支所地域振興課行政係(☎768-4951)または本庁総務課広報広聴係(☎757-3112)



太島 美紅ちゃん
おおしま みくちゃん
平成15年10月23日生まれ
芋沢 (写真右)

ブランコやすべり台で遊ぶのが大好きなみくちゃん、いつも元気印のれんちゃんとともに仲良い姉弟です。髪型や洋服に興味津々のおしゃれなみくちゃん。今はおさげ髪とスカートがお気に入りです。



30



長谷川 叶ちゃん
はせがわ かなうちゃん
平成16年5月10日生まれ
上新田1 (写真右)

保育園で、お友だちとブロックやかるた取りをして遊ぶのが楽しみなかなうちゃんは、クレーン車やパトカーが大好き。大きくなったら野球の選手になってあつきなホームラン打つんだよ！

ときめき ネットワーク

いつも笑顔絶やさずに

人見知りする性格でもともと接客するような仕事は苦手。なのに、高校2年のときにアルバイトでこの仕事を選んだのがきっかけで卒業後も続けることになり、もう7年になります。客商売だからどんなときでも笑顔絶やさずです。正直始めは大変だったけど、経験を積んで愛想よくなった。かな？（笑）
職場の人たちは、良い意味でみんなとてもフレンドリー。だから毎日楽しく仕事をしています。うちのお店のコンセプトは、新発売や売れ筋商品をお客さまに分かりやすくPRすること、商品の顔を見せることです。自分が力を入れ仕掛けた商品が売れたときは、仕事のやりがいを感じますね。
十日町は住みやすい町だと思います。一度は外に出てみたいと思うけど、やっぱり田舎に帰って来ちゃうだろうな。できれば、ショッピング街とか娯楽施設のような、若者が買い物や遊びに行ける場所があるといいなあ。



小林 めぐみさん
1983年生
セブンイレブン十日町西店勤務

先月の押木俊輔さんからバトンタッチ。



予防接種の目的は、病気に対する抵抗力（免疫）を体内にくくってお子さんの健康を守ること、感染症の流行を防ぐことの2つです。
最近、「病気がはやっていないから、予防接種はもう必要ないのではないか」という声を耳にしますが、多くの人が予防接種で抵抗力をつけているからこそ、病気の流行が抑えられているのです。

きちんと受けましょう お子さんの予防接種



問合せ 健康支援課母子保健係
TEL757-3719（内線121）

予防接種は、感染症の原因となるウイルスや細菌の力を弱めてつくったワクチンを体内に入れることにより免疫をつくらうとするものですから、体調のよいときに受けるのが原則です。日ごろからお子さんの体質、体調など健康状態によく気を配っておきましょう。

特に冬期間は、風邪や感染性胃腸炎などがはやっていきます。接種前に気にかかることがあれば、あらかじめかかりつけ医や健康支援課に相談してください。

《定期の予防接種》

予防接種の種類	対象年齢	標準的な接種期間	接種回数・間隔
B C G	生後6か月未満	生後3か月以上6か月未満	1回接種
三種混合	生後3か月以上7歳6か月未満	生後3か月以上12か月未満	3～8週の間隔で3回接種
		初回終了後12～18か月後	1回接種
麻しん風しん	1歳以上2歳未満	—	1回接種
	小学校就学の前年度	—	1回接種
二種混合	11歳以上13歳未満	11歳	1回接種
ポリオ	生後3か月以上7歳6か月未満	生後3か月以上18か月未満	6週間以上の間隔で2回接種

※日本脳炎予防接種は、現在厚生労働省の通知により接種勧奨を控えています。
※対象年齢の枠からはずれて接種する場合は、任意接種（自費）となります。

雪国の正月を遊ぶ 冬の集落小正月ツアー

1月13日(日)～14日(成人の日)

- 【13日】正午：十日町駅西口＝昼食（三省地区コミュニティ施設）＝地元講師による冬の暮らしワークショップ＝もちつき・かまくらづくり、冬の遊び＝夕食（かまくら）＝温泉＝宿泊（三省地区コミュニティ施設）
- 【14日】朝の雪歩き（希望者）＝朝食＝どんぶ焼き＝昼食（正月料理）＝温泉＝午後3時：十日町駅
- 旅行代金（1人）十日町発着…大人12,000円、子ども8,000円（東京発着…大人19,000円、子ども15,000円）※家族3人以上で参加の場合、一人1,000円割引。

冬のアート堪能ツアー

2月16日(土)～17日(日)

- 【16日】正午：十日町駅西口＝昼食＝見学（十日町雪まつり雪像）＝遺影撮影ワークショップ・ピンホールカメラワークショップ（名ヶ山）＝温泉＝夕食＝宿泊（三省地区コミュニティ施設）
- 【17日】早朝散歩＝朝食＝見学（脱皮する家、最後の教室ほか）＝昼食＝見学（ポチヨムキン）＝午後2時十日町駅
- 旅行代金（1人）十日町発着…大人12,000円、子ども8,000円（東京発着…大人19,000円、子ども15,000円）

大人のための「妻有でアートな雑祭り」ツアー

3月15日(土)～16日(日)

- 【15日】正午：十日町駅西口＝昼食（蕎麦）＝見学（脱皮する家、最後の教室、農舞台）＝夕食・宿泊（光の館）
- 【16日】朝の雪歩き（希望者）＝朝食＝お茶会・昼食（うぶすなの家）＝温泉＝午後3時：十日町駅
- 旅行代金（1人）十日町発着…大人22,000円（東京発着…大人28,000円）

※東京発は、いずれも午前8時渋谷駅発

問合せ
まつだい農舞台事務局
☎595-6310

大地の芸術祭冬季プログラム
「越後妻有2008冬」
この冬、大地の芸術祭事業としては初の冬季プログラム「越後妻有2008冬」を開催します。今号から5回にわたって、1月から3月に行われる催しを紹介していきます。今回は、アート作品と地元のイベント・行事を組み合わせ、冬を楽しむツアーについてご案内します。市外の知り合いの人にも、ぜひお勧めください。





まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係（☎757-3112内線213）へ、お気軽にお寄せください。

tokamachi topics



新たな農業経営に向けて 売れる商品づくり

11月20日(火)、クロス10で販売力強化に向けた売れる商品づくり研修会が開催されました。消費者の視点にたった「売れる商品づくり」を目指してもらおうと、十日町地域振興局農業振興部が主催したもので、市内や津南町の認定農業者や消費者など約200人が参加しました。講師に、日本で最初に農業による株式会社を設立した株式会社農産(石川県)の佛田利弘さんを迎えて講演が行われました。佛田さんは、「地域資源を生かし、生産者が価格決定権を持てるような商品づくりが求められています」と参加者に訴えました。また、市内の農業者や消費者の代表によるパネルディスカッションが行われ、生産者と消費者の双方の立場での意見が交わされました。

熱演・競演民謡舞踊 うたとおどりの祭典

市民謡協会と市舞踊協会主催による民謡舞踊大競演会「うたとおどりの祭典」が、12月2日(日)クロス10大ホールで開催されました。23回目の今回も、市内外の41の民謡・舞踊団体と個人、合わせて約250人が参加し熱演を披露。午前9時の「天神ばやし」を皮切りに、「十日町小唄」のフィナーレまで72目の民謡と舞踊が上演され、会場を埋めた約1,000人からは演目ごとに大きな拍手が送られていました。また、特別企画「越後の弥次喜多道中記」として、「越後船方節」や「祇園小唄」など、北陸を代表する10演目が演じられ、新潟から京都までの旅路をコミカルな唄と踊りで巡りました。



3年の歳月をかけて
11月25日(日)、情報館で越後縮問屋加賀屋の歴史資料目録贈呈式が行われました。加賀屋の歴史資料は、3年前の中越大地震で被災して以来、情報館に寄託され、整理・保存作業が進められてきました。10月末までに延べ3,385人のボランティアが作業を行い、全8巻の目録が完成。資料所蔵者の10代目当主無木元昭さん(神奈川県鎌倉市在住・68歳)は、「8巻にも及ぶ立派な成果をまとめたいただき、ありがとうございます」と感謝の言葉を述べていました。

十日町市核兵器廃絶平和都市宣言

12月1日(土)、市民会館で核兵器の廃絶と世界平和の願いを込めて、「十日町市核兵器廃絶平和都市宣言」が行われました。田口市長の宣言の後、村山教育長が宣言文を朗読し、会場の約180人の参加者は平和への思いを新たにしました。



体験発表をする松代中学校2年 村山雄也さん

引き続き、平和団体「原水爆禁止十日町市協議会」が設立50周年を迎え、記念式典が行われました。旧十日町市で昭和30年代から行われていた、平和を愛する市民の草の根運動は、これまで市民の協力を得ながら、広島・長崎の被爆者への義援金や見舞金などを送り続け、市民ぐるみの運動となっていました。

宣言文

雪・自然・農が織りなす温もりと躍動のまち、十日町市に住むわたしたちは、人と文化と郷土を愛し、平和で心豊かな、明るいまちをつくっていきたく念願しています。

わたしたちのまちは、長年にわたり、被爆者の苦しみと思い、市民活動をおおして広島・長崎と手を携えてきました。このぎすぎすなを大きく育て、平和を愛する世界の人々と手をつなぎ、核兵器のない社会を次の世代に継承することがわたしたちの責務であります。

平成19年12月1日

年末年始の市の業務

年末年始の市やごみ収集などの業務状況、市の各施設の休館状況などをお知らせします。

◆市役所・各支所

12月29日(土)～1月3日(木)は業務を休みます。

ただし、本庁の市民生活課・税務課・介護国保課・福祉課・会計課の窓口は、29日(土)午前8時30分～午後0時30分は業務を行います。
※30日(日)は業務を行いません。

◆中央公民館・各公民館・千手中央コミュニティセンター

12月29日(土)～1月3日(木)休館

◆博物館

12月27日(木)～1月4日(金)休館

◆総合体育館・川西総合体育館・松代総合体育館

12月29日(土)～1月3日(木)休館

◆情報館

12月29日(土)～1月3日(木)休館

◆ごみ収集

12月31日(月)まで収集カレンダーどおり収集します。

1月1日(祝)～3日(木)は、ごみ収集業務を休みます。

◆焼却場への持ち込み

年末は大変混雑するので、ごみを持ち込む場合は早めにお願います。ただし、事業系から排出された資源物の搬入は受け付けません。

●十日町・川西・松代地域：エコクリーンセンター

12月29日(土) 午前8時45分～午後4時45分

12月31日(月) 午前8時45分～正午

●中里・松之山地域：津南町地域衛生施設組合ごみ焼却場

12月29日(土)・30日(日) 午前9時～午後3時

◆し尿汲み取り

12月29日(土)～1月3日(木)は業務を休みます。

Q. 受けられる給付内容はどうなるの？

A. 後期高齢者医療制度では、現在の老人保健制度と同様の給付が受けられます。

●病気やケガをしたとき

・お医者さんにかかったとき（療養の支給・訪問看護療養費の支給）

病気やケガでお医者さんにかかるときや、訪問看護を利用したときは、かかった医療費の1割（現役並み所得者は3割）を自己負担します。

●入院したとき（入院時食事療養費の支給・入院時生活療養費の支給）

・入院したときの食事代や療養病床に入院したときは、食費と居住費の一部を自己負担します。

●医療費が高額になったとき

・1か月の医療費が高額になったとき（高額医療費の支給）

同じ月内に支払った医療費の自己負担額が定められた限度額を超えた場合は、申請して認められると限度額を超えた分が支給されます。

・医療費と介護サービスの自己負担の合算額が高額になったとき（高額医療・高額介護合算制度）

同一世帯の被保険者で、医療費と介護サービスの1年間の自己負担額を合算した金額が定められた限度額を超えた場合は、申請して認められると限度額を超えた分が支給されます。

《高額医療費などの自己負担限度額》

所得区分 (医療機関窓口で支払う自己負担割合)	高額医療費の自己負担限度額(月額)		高額医療・高額介護合算制度の自己負担限度額(年額)
	外来(個人単位)	外来+入院(世帯単位)	医療費+介護サービス
現役並み所得者(3割負担)	44,400円	80,100円+(医療費-267,000円)×1%	670,000円
一般(1割負担)	12,000円	44,400円	560,000円
低所得者Ⅱ(1割負担)	8,000円	24,600円	310,000円
低所得者Ⅰ(1割負担)	8,000円	15,000円	190,000円

●申請してあとから受ける給付

次のような場合は、いったん全額自己負担しますが、市町村窓口で申請して認められると、自己負担分を除いた金額が支給されます。

・急病などでやむを得ず保険証を持たずに受診したときや、医師の指示で転院などの移送費用がかかったとき。

・海外渡航中に治療を受けたとき。ただし、治療目的の渡航は除きます。

・医師が必要と認めたコルセットなどの補装具を作ったり、はり・きゅう・マッサージなどの施術を受けたとき。

・被保険者が亡くなったときは、葬祭費が支給されます。

《所得区分割合》

所得区分	所得条件
現役並み所得者	同一世帯(※1)の後期高齢者医療制度被保険者の中に、課税所得145万円以上の所得者がいる人。ただし、課税所得が145万円以上でも下記に該当する人は、申請により1割負担となります。 ・同じ世帯に後期高齢者医療制度の被保険者が一人の場合 その人の収入合計金額が383万円未満 ・同じ世帯に後期高齢者医療制度の被保険者が複数いる場合 その複数人の収入合計金額が520万円未満 ※1 平成20年7月までは、70歳から74歳の国保または被用者保険の加入者も含まれます。
一般	『現役並み所得者』、『低所得者Ⅱ』、『低所得者Ⅰ』以外の人。
低所得者Ⅱ	世帯全員が住民税非課税で、『低所得者Ⅰ』以外の人。
低所得者Ⅰ	世帯全員が住民税非課税で、その世帯の各所得が必要経費・控除(年金の所得は控除額を80万円計算)を差し引いた時に0円となる人。

雪処理にご注意。ご協力を!!

雪おろしに注意

雪おろし作業は安全を第一に考え、足もとには十分注意しましょう。屋根雪などの道路への投げ捨ては禁じられています。やむをえず道路に投げ捨てたときは、速やかに片付けてください。落雪式屋根の軒下には絶対に立ち入らないでください。また、ガスや灯油の外部配管を傷つけないように注意してください。雪おろしは隣接する家の人に声を掛け、お互いに協力し合いながら行いましょう。

非常口の確保と事故防止

火災などの緊急時に備え、建物の非常口を確保しましょう。防火水槽や消火栓の除雪を行いましょ。

家の周囲での雪壁崩落や消雪池・流雪溝への転落事故も少なくありません。十分注意しましょう。

除雪機械に近寄らない

除雪作業をするときは必ず誘導員を付けましょう。除雪作業中は必ず誘導員の指示に従ってください。小型除雪機の事故が毎年多発しています。雪が詰まったときは必ずエンジン停止してから取り除くなど、事故防止に努めましょう。

流雪溝の正しい使い方

①作業中は流雪溝のふたが開いていることを知らせるため、赤いカラーコーンや赤い旗を掲示してください。作業終了後は速やかにふたを閉めてください。
②転落防止のため、ふたに付けてある十字枠は絶対に外さないでください。
③道路の中央に設置してある投雪口を利用するときは、必ず誘導員を置いてください。
④河川への投雪は水上がりの原因になるのでやめてください。

みんなで気配り運転

除雪道路は駐車禁止です。除雪作業の迷惑にならないようにしましょう。運転者は水はねなどで歩行者に迷惑をかけないように気配りある運転

を心がけましょう。

降雪・積雪状況により、交通規制が行われることがあります。ご理解ご協力をお願いします。

雪崩にあわないために

気温が低く降雪が続く時期や融雪期には、雪崩が起こりやすくなります。雪山の登山やスキー場などでは特に注意し、危険な場所には絶対に近づかないようにしましょう。雪崩の兆候や危険な場所を見つけたら、すぐに避難して、市克雪維持課・各

NTT・東北電力からのお知らせ

◆メーター周りを除雪してください。屋根の雪おろし作業をするときは、電線・電話線の切断に注意してください。
◆ロータリー除雪車などで除雪作業をするときは、雪を電線・電話線・変圧器・メーターの方向に飛ばさないでください。
◆変圧器や電線に触れると感電する恐れがあります。電線が切れて路上などに落ちていても、絶対にさわらないでください。見つけたときは至急東北電力までお知らせください。
●問合せ=NTT東日本新潟南魚沼サービスセンター ☎025-778-1616、東北電力 ☎0120-175-366

水道管の凍結防止は万全ですか？

冷え込みが厳しくなると、屋外の水道管や蛇口が凍って破裂することがあります。凍結事故による修理費と水道料金は、使用者の負担になります。十分な防寒対策を行いましょ。
◆凍結防止対策…凍結しやすい箇所に保温材を巻いてください(発泡スチロールなど水を吸収しない素材が有効です)。
◆破裂したとき…メーターボックス内の止水栓を閉じてから、指定工事店に修理をお願いしてください。
冬期間も検針を行います。メーターボックスの上に物を置かないでください。
●問合せ=上下水道局水道維持係 ☎757-3115(内線39)



▼克雪維持課克雪利水係(内線273)

支所建設企業課または地域振興局地域整備部へ連絡してください。

十日町雪まつり

雪まつり発祥の地として全国に名をはせる十日町。雪に生き、雪に親しみ、雪に打ち勝ち、雪国独自の文化を切り開いてきました。その第59回十日町雪まつりが2月15日(金)～17日(日)に開催されます。また、2月から3月にかけて各地域でも雪国を楽しむ特色あるイベントが催され、それぞれに培われたたくましく、大らかな感性で十日町市の熱気を伝えます。観て、味わって、参加して楽しい冬のお祭りにぜひお出掛けください。



特典いろいろ! お得な

十日町雪まつりパスポート 好評発売中 3,000円(税込)

- ①「雪上カーニバル」パスポートゾーン入場
雪まつり最大の華、「雪上カーニバル」をステージ付近で観賞できます。
- ②雪の芸術作品めぐり
スタンプラリー
数ある雪の芸術作品の中から8つの芸術部門の作品を鑑賞して応募すると、抽選ですてきな賞品が当たります。
- ③雪まつりパスポート優待サービス
「協賛店」・「協賛ひろば」で、商品割引・無料提供などのサービスが受けられます。
- ④雪まつりクーポンサービス
パスポートに付いているクーポン券で、日帰り温泉の入浴割引などが受けられます。…ほかにもいろいろ。



雪上カーニバル会場図

十日町雪まつりパスポート販売所
雪まつり事務局、クロス10、全国のセブン-イレブン、ローソン、JR東日本新潟支社管内「びゅうプラザ」「みどりの窓口」(一部) ほか

音と光のスペクタクル 雪上カーニバル



鳥羽 一郎 とはいちろう

「兄弟船」「下北漁港」「男の港」「海峡の春」など、海をテーマにしたヒット曲を持つ実力派演歌歌手。



坂本冬美 さかもとふゆみ

きものが似合う女性演歌界のトップスター。ヒット曲に「あばれ太鼓」「祝い酒」「男の情話」「夜桜お七」など。

■日時：2月16日(土)午後6時～
■会場：城ヶ丘ピュアランド(十日町駅から徒歩約20分)

雪の巨大ステージは、十日町雪まつりの象徴として美しい舞台を演出します。ゲストに鳥羽一郎さん、坂本冬美さんらを迎え、ステージを華やかに盛り上げます。



アルビレックスチアリーダーズ

十日町雪まつり 楽しい催し盛りだくさん!!

十日町雪まつりは、雪上カーニバル、雪の芸術展、おまつりひろばの主な3つの見どころをはじめ、さまざまなイベントが企画されています。開催予定のイベントをいくつかお知らせします。

オープニングフェスティバル2008

- 3日間の開幕を告げる一大イベント。
- 日時 2月15日(金) 午後6時30分～
- 会場 コミュニティひろば(十日町高校グラウンド)

ウェルカムセレモニー

- 友好都市(横浜、指宿ほか)のミスの皆さんの紹介、雪の芸術作品展表彰など
- 日時 2月16日(土) 午後1時～
- 会場 コミュニティひろば



ツマリアンボール選手権大会

- 十日町雪まつりで生まれたスノーフィールドバレーボール
- 日時 2月17日(日) 午前9時～
- 会場 コミュニティひろば



雪まつりゲーム大会

- 親子で気軽に参加できるゲーム大会
- 日時 2月17日(日) 午前11時30分～午後0時30分
- 会場 コミュニティひろば

キャラクターショー

- 子どもたちに大人気の「仮面ライダー電王」によるステージショーと撮影会。
- 日時 2月17日(日) 午前10時～と 午後1時～の2回
- 会場 コミュニティひろば



©2007 石森プロ・テレビ朝日・ADK・東映

十日町雪まつり 各種募集のお知らせ

申し込み・問合せは、雪まつり実行委員会事務局へ

雪像制作・おまつりひろば開設団体募集

おまつりひろばを開設する団体と雪の芸術作品・雪の街角作品の制作団体を募集しています。

- (1)おまつりひろば 地区も雪まつりムードにでざわいましょう。
- (2)雪の芸術展 ①芸術部門②特別部門③学童部門の3部門です。
※芸術部門のみ審査対象となります。
- (3)雪の街角作品 小団体での雪像制作に適したコンテストです。
- 応募締切り おまつりひろば: 12月20日(木)
雪の芸術展・雪の街角作品: 1月9日(水)必着
- 申込み用紙 雪まつりホームページまたは雪まつり事務局に配置

ミス十日町雪まつりコンテスト参加者募集

- 応募資格 県内在住または県内に帰省地のある満18歳以上の未婚女性(高校生を除く)。ただし、ほかのミスコンテストに入賞し、任期中の人は応募できません。
- 賞品 振袖、グアム旅行、ダイヤリング、液晶テレビ、iPod nano、魚沼産コシヒカリほか
- 審査方法 (1)予選会(書類審査)本選会に進む16人を選出
(2)本選会出場者説明会 2月10日(日)
(3)本選会(振袖姿を審査) 2月17日(日)
※公開審査
- 応募締切り 1月18日(金) 必着
- 申込み用紙 雪まつりホームページまたは雪まつり事務局に配置

雪上カーニバル むこ投げ「お婿さん」募集

雪上カーニバルで行う松之山温泉「おこ投げ」に出演する、今年結婚した、または結婚予定のカップル3組を募集します。



- 期日 2月16日(土)
- 申込締切り 1月10日(木)

オープニングフェスティバル2008 「雪まつりに参加したい人 みんな集まれ!」参加者募集

1組5分程度で芸風は問いません。あなたのパフォーマンスを舞台上で披露しませんか。※中学生以下は保護者同伴のこと

- 期日 2月15日(金)夜
- 会場 コミュニティひろば(十日町高校グラウンド)

十日町雪まつり ボランティアスタッフ募集

十日町雪まつりの運営をサポートする、ボランティアスタッフ(高校生以上)を募集します。

- 期日 2月15日(金)「オープニングフェスティバル2008」
2月17日(日)「雪まつりゲーム大会」
- 会場 コミュニティひろば
- 活動内容 演出サポートや舞台設置など

申込み 十日町雪まつり実行委員会事務局(本町2 本町分庁舎内) ☎757-3100 FAX757-5150
問合せ ホームページ <http://snowfes.jp/> e-mail snowfes@city.tokamachi.niigata.jp

GUIDE

お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111

視聴覚ライブラリー ビデオ上映会

●日時 12月22日(土)午後1時30分～3時 ●会場 情報館 ●入場料 無料 ●定員 先着100人

●内容 「雪ダルマンの冬道交通安全」 「山古志村のマリと三匹の小犬」 ●申込み・問合せ 視聴覚ライブラリー ☎757-5101

健康！青竹踏み教室

青竹踏みはソフトエアロビクスなどを取り入れた運動です。冷え性や足のむくみを改善します。

●日時 毎週火曜日(12月25日・1月1日を除く) 午前11時～正午 ※1回のみの参加も可

●会場 明石の湯 ●対象 おお

GUIDE その他

冬の「ごみステーション」管理

ごみステーションの管理は各町内においてありますが、集積庫のないところでは、除雪作業でごみが散乱しないように注意してください。また、紙類は水や雪でぬれないようにご協力をお願いします。なお、冬期間

寄付ありがとう

11月25日届出分まで(敬称略)

- 十日町市へ＝(社)倫理研究所新潟県倫理法人会(100,000円) 東北電力(株)(街路灯75灯)
- 地域福祉基金へ＝松代ゴルフ倶楽部(52,000円)
- 情報館へ＝山崎弘子(泉町) 庭野勇吉(高田町3西) 水落千春(本町1下) 京馬伸子(神奈川県横浜市)
- 博物館へ＝猪俣忠(糸魚川市)

むね50歳以上 ●参加費 500円(入館料) ●定員 先着20人

●申込み・問合せ キナーレ ☎752-0117

しめ縄講習会

正月用のしめ飾りを作ります。

●日時 12月22日(土)午前10時～午後3時 ●会場 クロス10 ●参加費 1,500円(わら1束分の材料費込み) ※わらの追加は1束200円 ●定員 先着20人

●講師 津南町老人クラブ連合会 工芸部 ●申込み・問合せ クロス10 ☎757-2323

雪の華チャリティ クリスマスコンサート

●日時 12月22日(土)午後7時～(開場6時30分) ●会場 日本キリスト教団十日町教会 ●入場料 無料 ●問合せ 田口 ☎752-2217

第13回市民書初め大会

●日時 20年1月20日(日)正午受付～午後3時30分 ●会場 クロス10 ●参加費 500円 ●申込み 12月25日(火)までに、申込書(申込み先に配置)を各公民館に提出 ●問合せ 田中 ☎090-2327-11068

のごみ収集は、降雪や道路状況により遅れる場合がありますのでご理解をお願いします。

●問合せ 環境衛生課 ☎752-3924

「多重債務相談」窓口を設置します

20年1月から、司法書士による多重債務相談窓口を開設します。

●日時 毎月第2水曜日午後1時30分～4時30分(1人につき30分) ●会場 市役所本庁市民相談室 ●相談料 無料 ●申込み・問合せ 市民生活課環境政策室生活環境係(内線158)

連鎖倒産防止特別融資の取扱いを開始します

倒産企業と取引関係にあり、経営に支障をきたしている中小企業に対する融資の受付を開始します。

●対象 市内で同一事業を1年以上営み、市税などを完納している、倒産企業に対して適正な取引きに基づく債権を20万円以上有している中小企業

●資金使途 運転資金 ●融資限度額 2,000万円(倒産企業に対する売掛金債権額の範囲内) ●融資期間 7年以内(据置1年以内を含む) ●融資利率

GUIDE 募集

公営住宅入居者募集

地域	物件	間取り	家賃(月)	募集戸数	備考
十日町	黒沢市営住宅	昭和46年度建築 簡易耐火造2階建	5帖1室、 3帖1室、DK	2戸	S4、S5号室 (条件により単身可)
川西	下平新田団地	昭和47年度建築 木造2階建	20,000円	2戸	1、3号室 (駐車場なし)
松代	善宗塚市営住宅	昭和52年度建築 簡易耐火造3階建	12,000円～19,900円	3戸	11、17、 21号室
松之山	海海団地 (特定公共賃貸住宅)	平成8年度建築 木造高床3階建	32,000円～44,800円	1戸	3号室

公共的施設年末年始の営業状況

- ◆クロス10：12月31日(月)休館、1月1日(元日)～営業
 - ◆キナーレ明石の湯：31日(月)午前10時～午後8時、午後11時～翌朝3時、1月1日(元日)正午～、2日(水)～通常営業
 - ◆キナーレ和装芸館・体験工房館・きもの歴史館：12月31日(月)・1月1日(元日)休館、2日(水)～通常営業
 - ◆松葉荘：12月30日(日)～1月1日(元日)休館
 - ◆千手温泉千年の湯：12月31日(月)午前10時～午後8時(最終入館7時30分)、1月1日(元日)～通常営業
 - ◆ひだまりプール：12月25日(火)～1月3日(水)定期点検のため休館
 - ◆光の館：12月31日(月)・1月1日(元日)見学不可、1月8日(火)・9日(水)休館
 - ◆ゆくら妻有：12月31日(月)午後9時30分～翌朝6時、1月1日(元日)午前11時～
 - ◆湯処よーへり：1月2日(水)休館
 - ◆まつだい農舞台：12月25日(火)～1月4日(金)休館
 - ◆芝峠温泉雲海：12月21日(金)～冬期営業
食堂…平日午後5時(土・日曜午後6時)まで営業
日帰り入浴…午後7時まで営業 ※水曜定休日
 - ◆まつだいふるさと会館：12月31日(月)正午まで、1月1日(元日)～3日(水)午後5時まで営業
- ※森の学校キョロロ・ミオンなかさと・松之山温泉鷹の湯と上記以外はずべて通常営業を行います

GUIDE 健康 年金

8月～11月分の児童扶養手当を振り込みます

離婚などで父と生計を同じくしていない児童を養育している

●募集期間 12月12日(水)～12月25日(火) ※入居資格などの申込み条件の詳細は問い合わせください ●申込み・問合せ 克雪維持課建築住宅係(内線276)

第3子以降の 出生祝金の支給

●対象 第1、2子を現に養育し、第3子以降に出生した子を養育する父母 ●祝金額 対象者1人につき50,000円 ●申

あやしいたね

▼核兵器廃絶平和都市宣言・原水爆禁止十日町協議会設立50周年記念式典の取材に行きました。同協議会が行っている広島市への派遣団の一員として、2年前に当時中学生だった長女が参加して来ました。平和祈念式典への参加や、養護施設などで耳にした被爆者の生の声は、生涯忘れることのない貴重な経験になったと思います。私自身も、協議会が毎年8月6日に開催している原水爆禁止市民大会に参加していますが、この日は私にとって悲愴な戦争を改めて考えさせられる大切な1日になっています。

▼早いもので12月、11月中旬のいつもより早い初雪と積雪にはびっくりでした。この冬もどうか大雪になりませんように…。



(優)



落とし物や忘れ物の取扱方法を定めた遺失物法が、12月10日(月)から改正されます。主な改正点は次のとおりです。

●改正点
①警察署での保管期間が、6か月から3か月になります。早

落とし物などの 取扱いが変わります

▼信用保証付き…年1・90%
▼そのほか…年2・40% ●申請期限 20年1月31日(木) ●そのほか 県信用保証協会に支払う信用保証料は全額補助 ●問合せ 産業振興課商工振興係 ☎757-3139

二重被災者緊急対策事業 (二重被災者住宅債務償還特別支援) を制定しました

(助)新潟県中越大震災復興基金では、中越大震災での被災による住宅債務があり、さらに中越沖地震での被災により二重で住宅債務が発生した被災者を支援する新事業を制定しました。詳細は問い合わせください。

●対象 次①②すべてに該当する人

- ①借入日が平成19年7月16日以前の住宅ローンに対して被災者住宅支援対策事業(被災者住宅復興資金利子補給)の交付決定を受けた人
- ②中越沖地震で自ら居住する住宅に被害を受け、県内において自ら居住する住宅を新築・購入・補修するために住宅ローンを新しく借り入れた人(借入日は平成19年7月16日～22年2月28日)

●問合せ 克雪維持課建築住宅係(内線277)

▼国宝火筒型土器を久しぶりに間近で見ました。25年前、土から取り上げ、洗い、乾燥させて、下部の部品探しをしたことが、鮮明にのみがえります。何万ピースもの土器片の中からこの土器のものを探す。必ずあるとは限らないジグソーパズル…。気が遠くなるようにですが、実は二回りは意外に早く見つかりました。手には分れば一瞬で識別できるほど際立って高品質だったからです(P4)。最後の一回りに4年を要しました。こげつきや煮こぼれも付いていました。何を煮たらんろう?と、鍋をつつきながら考えました。

▼この地の土で器を作り育てたものを食べる。妻有焼には縄文と同じ循環の思想があります。ただし、むやみに山を掘るのはダメです。



(わ)



携帯サイト




雲野 龍さん (4年)

いろんなモンスターが住むハウスの中は迷路になっています。ビー玉を入れるUFOみたいな感じで冒険してきます。せまい箱の中に迷路の仕掛けを作るのが大変でした。

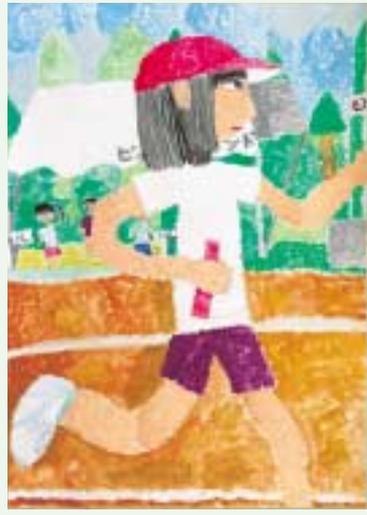
モンスターハウスめいろ




村山百香さん (4年)

友だちと十日町おまつりに行きました。大きききれいな花火を見ながら食べたタコ焼きは、とてもおいしかったです。たくさんの人がおみこしや踊りに出ていて、にぎやかで楽しかったです。

夏祭り




齋木静菜さん (5年)

運動会のリレーで走っているところです。運動会には地区の人みんなが来てくれました。走るのはあまり好きじゃないけど、このときは自分のチームが勝てたのでうれしかったです。

一生懸命走った




雲野 哲さん (5年)

日本と中国の交流をイメージして作ったホワイトボード付きの壁かざりです。大きいカメを作るのは難しかったけど、日本のたがうまくできました。鋭くて強そうな角が気に入っています。

大きいカメと小さいカメ

ジュニア芸術祭

30

八箇小学校




雲野拓也さん (6年)

イルカと鳥がいっしょに空を飛んでいます。イルカは海の生き物だけど、空を飛んでいるほうが夢があつていいなと思って作りました。イルカの顔がかつこよくできました。

空飛ぶイルカ




服部史子さん (6年)

太陽が当たっているところと当たっていないところの色の違いにこだわりました。八箇小学校は人数は少ないけど、太鼓などほかの学校にはないことができるので好きです。

思い出に残る八箇小学校